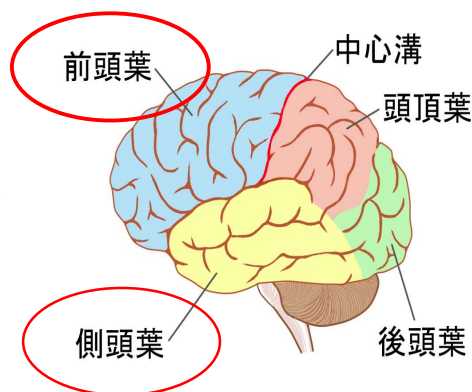


認知症医療センターには、一般市民、専門職の方々へ認知症に関する情報を発信し、認知症の普及・啓発を促進するという重要な役割があります。センター便りとして定期的に情報を発信していきます

## 特集 前頭側頭型認知症について

### ■ 原因と特徴

異常なタンパク質（タウ、TDP-43、FUS などいくつかの種類があります）が神経細胞などにたまることで、前頭葉と側頭葉という脳の前方部が萎縮して発症する認知症です。40～60歳くらいの比較的若い年齢で発症することが多く、精神疾患と間違われることもある認知症です。性格や行動の変化が目立つタイプと、スムーズに話せなくなったり言葉の意味がわからなくなるなど言葉の障害が目立つタイプがあります。



### ■ 主な症状

この認知症ではアルツハイマー型認知症でよくみられるような、もの忘れ、位置関係や距離感が分からないといった認知機能の障害は初期には目立ちません。

段取りよく物事をこなせない（遂行機能障害）という認知機能の障害が目立ち、その他、下記のような性格や行動の変化、言葉の異常症状が特徴的です。

#### 1) 行動の抑制が効かない(脱抑制)

我慢ができず、衝動的で、社会的に不適切な行動がみられます。

例えば、万引きをする、自動車の運転で信号無視や急ブレーキなど危険運転をする、異性に過剰にさわる、盗み食いをするようなことがあります。他人からどう思われるかを気にしなくなるため、マナーが守れず、周囲への配慮がなくなりますが、指摘されても本人に悪びれた様子はなく、平気な顔をしています（病気の自覚がなく、悪気はありません）。



#### 2) 何もしようとしらない(無気力)

昼寝ばかりして過ごす、歯みがきや入浴を面倒くさがる、身だしなみを気にしなくなる、質問をしてもよく考えずに答える、など無気力になっていきます。

#### 3) 相手の気持ちを理解できなくなる(共感や思いやりの障害)

家族や友人と交流して気持ちを分かち合ったり、つらい状況の相手に同情する能力がなくなり、温かみが感じられなくなります。



#### 4)同じ行動を繰り返す(常同行動)

毎日決まった時間に同じ道を歩き続ける、毎日同じ料理をして同じ食べ物を食べる、同じ内容の話を何度も繰り返す、同じ物をたくさん集めるなど、こだわりが強くなります。手をパチパチ叩き続けるなど、同じ動作を繰り返すこともあります。



#### 5)食行動の異常

よくみられるのは、アイスや饅頭など甘い物を毎日大量に食べることです。その他、ご飯にソースやジャムをかけて食べる、消しゴムなど食べ物ではないものを食べるなどの異常な食行動がみられることがあります。

#### 6)言葉の障害

言葉の障害は二つのタイプがあります。一つは物の名前や意味の記憶がすっかり抜けてしまうタイプ(意味性認知症)、もう一つは言葉をスムーズに話せなくなるタイプ(進行性非流暢性失語)です。



### ■ この病気と上手に付き合っていくには

前頭側頭型認知症は、介護の負担が大きくなりやすい認知症です。一部の抗うつ薬等が異常な行動に効果があるとの報告もありますが、薬の効果が比較的少ないタイプであるため、介護保険サービスによる生活環境の調整や、この病気の特徴を利用した介護の工夫などの対応が重要になります。

(認知症医療センター長 井ノ口 貴俊)

## お知らせ

### [第1回第1回高山病院福岡県認知症医療センター 市民向け&専門職向けセミナーの申し込み受付開始]

(開催日時) 令和6年3月16日(土) 13:00~17:00 (12:00 受付開始)

(会場) ユメニティのおがた小ホール

(参加費および参加定員) 無料・200名(先着順)

(プログラムおよび申し込み方法) ホームページをご覧ください。11月20日(月)より申し込み受付を開始いたします

(お問い合わせ先) 下記の認知症医療センターまでご連絡ください

### [次号の予告]

- 次号は1月にNo7『軽度認知障害(MCI)・若年性認知症とは』を掲載いたします

### [ご意見・ご要望を募集しています]

- 「センター便り」に関するご感想やご意見・ご要望は、認知症医療センター事務局までお気軽に下記までご連絡ください

### [編集・発行]

医療法人 福翠会 高山病院 福岡県認知症医療センター

〒822-0007

福岡県直方市下境 3910-50 TEL 0949-23-0520 FAX 0949-24-0838

E-Mail takayamaninchis@gmail.com URL <https://nogata-fukusuikai.jp/>